

ワークショップ開く

健康リスク管理必要

青年部会

【富山】富山県トラック協会の青年部会(荒木一義部会長)は10日、「ドライ

バーの健康管理、健康起因事故防止」をテーマに青年部会第1回ワークショップを開催した。

荒木部会長が「本日は健康に起因する事故防止など

について、研修の機会を得た。当社でも、ドライバーの脳・心臓疾患による緊急対応が求められたことがある。幸い運転中ではなかった。事故にはつながらなかったものの、運送会社は常に、ドライバーの健康起因事故の危険と隣り合わせ。高齢化により、そうしたリスクが一層大きくなっている。研修を機に、健康のリスク管理にも努めて欲しい」とあいさつ。

ヘルスケアネットワークの作本貞子副理事長が「トラック事業者における健康起因事故防止対策」をテーマに、ドライバーの健康が安全安心、企業経営、物流

を支えていることを強調した。

グループ討議では、参加者が5人1組の4グループに分かれ、自社の健康起因のリスク管理などについて発表。積極的な意見交換を行った。

(俵箭秀樹)